

練習問題

[1] (基本) 次の関数のグラフを描きなさい。

(1) $y = x + \frac{4}{x}$

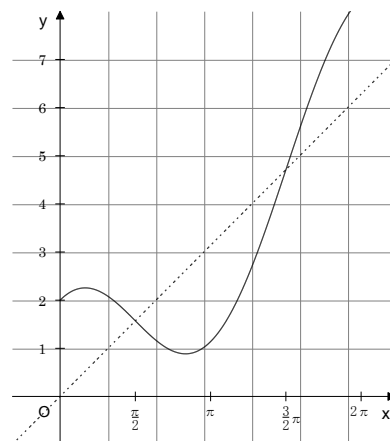
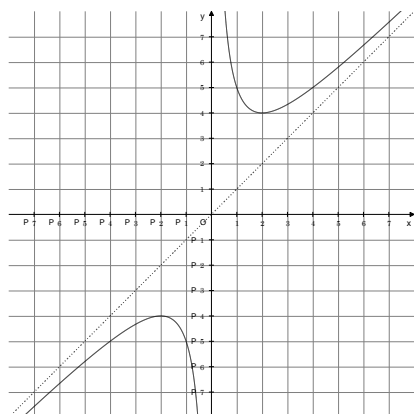
[解] $y' = 1 - \frac{4}{x^2} = \frac{(x+2)(x-2)}{x^2}$ より

x	$-\infty$	\cdots	-2	\cdots	0		\cdots	2	\cdots	∞
$f'(x)$		+	0	−			−	0	+	
$f(x)$	$-\infty$		-4		$-\infty$	∞		4		∞

極大

極小

漸近線 $x=0$, $y=x$



(2) $y = x + 2\cos x$ ($0 \leq x \leq 2\pi$)

[解]

微分して $y' = 1 - 2\sin x$

$y' = 0$ となるのは $\sin x = \frac{1}{2}$ より $x = \frac{\pi}{6}, \frac{5\pi}{6}$

したがって、増減表は

x	0	\cdots	$\frac{\pi}{6}$		$\frac{5\pi}{6}$	\cdots	2π
y'		+	0	−	0	+	
y	0		$\frac{\pi}{6} + \sqrt{3}$		$\frac{5\pi}{6} - \sqrt{3}$		$2\pi + 2$







[2] (標準) 次の関数の増減・極値・凹凸を調べ、グラフを描きなさい。

$$(1) \quad y = \frac{x}{x^2 + 1}$$

微分して
$$y' = -\frac{x^2 - 1}{(x^2 + 1)^2} = -\frac{(x+1)(x-1)}{(x^2 + 1)^2}$$

さらに微分して
$$y'' = -\frac{2x(x + \sqrt{3})(x - \sqrt{3})}{(x^2 + 1)^3}$$

したがって、増減・凹凸表は

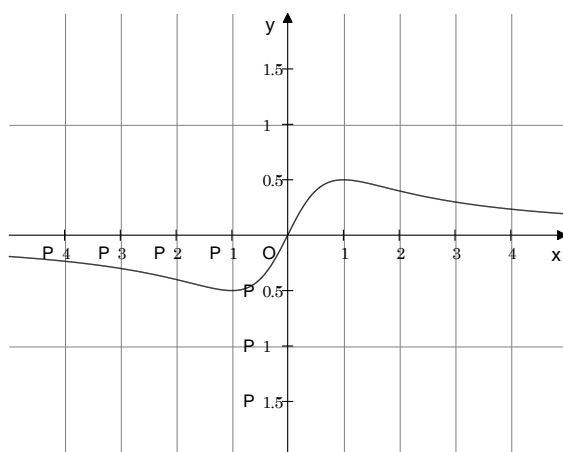
x	$-\infty$		$-\sqrt{3}$	\cdots	-1		0	\cdots	1	\cdots	$-\sqrt{3}$	\cdots	∞
y'		$-$	$-$	$-$	0	$+$		$+$	0	$-$	$-$	$-$	
y''		$-$	0	$+$	$+$	$+$	0	$-$	$-$	$-$	0	$+$	
y	0		$-\frac{\sqrt{3}}{4}$		$-\frac{1}{2}$		0		$\frac{1}{2}$		$\frac{\sqrt{3}}{4}$		0

(極小)

(極大)

$x \rightarrow \pm\infty$ のとき $y \rightarrow 0$ であるから、漸近線は $y = 0$,

また、奇関数であるから原点对称である。



(2) $y = e^{\frac{1}{x}}$

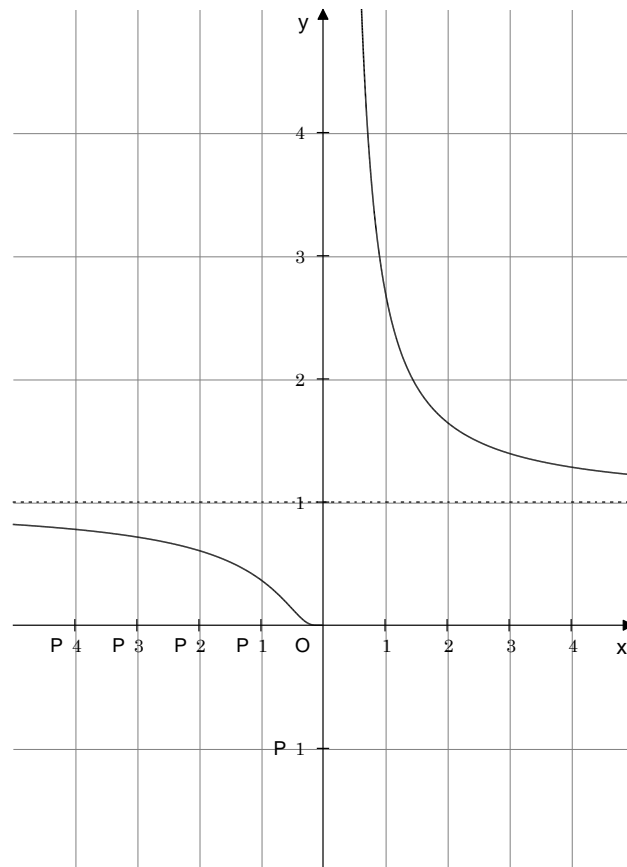
微分して $y' = -\frac{e^{\frac{1}{x}}}{x^2} < 0$

さらに微分して $y'' = \frac{e^{\frac{1}{x}}(2x+1)}{x^4}$

したがって、増減表は

x	$-\infty$		$-\frac{1}{2}$	\dots	0		\dots	∞
y'		$-$		$-$			$-$	
y''		$-$	0	$+$			$+$	
y	1	\curvearrowright	$\frac{1}{e^2}$	\curvearrowleft	0	∞	\curvearrowright	1

$x \rightarrow \pm\infty$ のとき $y \rightarrow 1$ および $x \rightarrow +0$ のとき $y \rightarrow \infty$ であるから、
漸近線は $y = 1$, $x = 0$



[3] (標準) 次の方程式の実数解の個数を、グラフを利用して求めなさい。

$$x \log x - k = 0 \quad (k \text{ は定数})$$

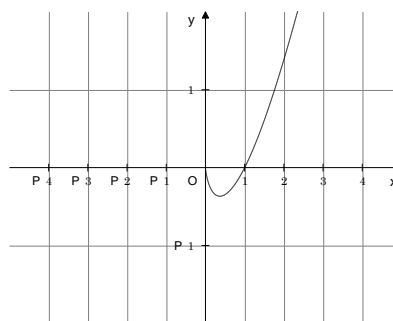
〔 $x \log x - k = 0$ の実数解は、曲線 $y = x \log x$ と直線 $y = k$ の交点の x 座標である。〕

変形すると $x \log x = k$ であるから、 $x \log x - k = 0$ の実数解は、曲線 $y = x \log x$ と直線 $y = k$ の交点の x 座標である。

$y = x \log x$ について

$y' = \log x + 1$ より、増減表は

x	0	...	$\frac{1}{e}$...	∞
y'		-	0	+	
y		↘	$-\frac{1}{e}$	↗	∞



$x \rightarrow 0$ のとき $y \rightarrow 0$

グラフより

$k < -\frac{1}{e}$ のとき 0 個, $k = -\frac{1}{e}$ のとき 1 個, $-\frac{1}{e} < k < 0$ のとき 2 個,

$0 \leq k$ のとき 1 個

発展問題

[3] 次の関数のグラフを描きなさい。

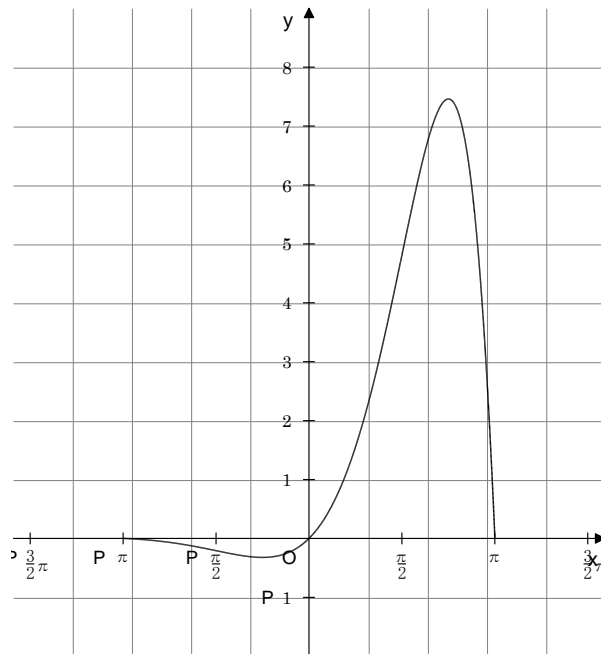
(1) $y = e^x \sin x \quad (-\pi \leq x \leq \pi)$

$$y' = e^x (\sin x + \cos x)$$

$$\sin x + \cos x = 0 \text{ の解は } \sqrt{2} \sin\left(x + \frac{\pi}{4}\right) = 0 \text{ より } x = -\frac{\pi}{4}, \frac{3\pi}{4}$$

したがって、増減表は

x	$-\pi$...	$-\frac{\pi}{4}$		$\frac{3\pi}{4}$...	π
y'		-	0	+	0	-	
y	0	↘	$-\frac{1}{\sqrt{2}} e^{-\frac{\pi}{4}}$	↗	$\frac{1}{\sqrt{2}} e^{\frac{3\pi}{4}}$	↘	0



(2) $x^2 y^2 = x^2 - y^2$

グラフは x 軸、 y 軸に関して対称であるから、 $x \geq 0$ 、 $y \geq 0$ の部分のグラフを x 軸、 y 軸に関して対称に折り返したものである。

$x \geq 0$ 、 $y \geq 0$ のとき $y = \frac{x}{\sqrt{x^2 + 1}}$

微分して $y' = \frac{\sqrt{x^2 + 1} - x \cdot \frac{x}{\sqrt{x^2 + 1}}}{(\sqrt{x^2 + 1})^2} = \frac{1}{(\sqrt{x^2 + 1})^2 \sqrt{x^2 + 1}} = \frac{1}{\sqrt{(x^2 + 1)^3}} > 0$

よって単調増加である。

また、 $y'' = -\frac{3}{2}(x^2 + 1)^{-\frac{5}{2}} \cdot 2x = -\frac{3x}{\sqrt{(x^2 + 1)^5}} \leq 0$ であるから、上に凸のグラフである。

$x \rightarrow \infty$ のとき $y \rightarrow 1$ であるから 漸近線は $y = 1$

以上から

